

<b>授業科目名</b>		観光文化論		<b>担当教員名</b>	浅羽良昌	
<b>科目区分</b>		<b>単位</b>	<b>配当年次</b>	<b>実施時期</b>	<b>曜日・時限</b>	<b>形態</b>
学部共通専門科目	必修	2	2	春・秋学期	(春学期) 木・2、金・2 (秋学期) 木・2、木・3	講義
<b>授業概要</b>						
<p>観光は訪れる先の文化を変容させるなど、当該地域の文化のあり方に大きな影響を与える可能性を持っている。また、その一方で、観光を通して訪れる側の人々も、文化の多様性を認識し、多面的価値観の普及に至るなど、観光に訪れる国の文化のあり方にも影響がもたらされることが考えられる。本講義では、こうした観光と文化との相互作用について、現状分析を踏まえて講義を進めていく。具体的にはアメリカ合衆国の観光と文化との相互作用に焦点をあてて検討を進めていくが、ヨーロッパや日本における観光と文化との相互作用についても比較言及したい。</p>						
<b>到達目標</b>						
<p>教員の提示する資料を調査・分析することを通じ、研究への楽しみ方、やり方を理解する。 分析・判断能力を高める。</p>						
<b>授業方法(展開)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ単に講義を一方的にすすめるのではなく、関連する映画・ビデオ等を利用しながらまずは理解力を深めることに留意したい。</li> <li>・そのことを前提に授業最後の15分程度は、毎回テーマを設定し各受講生の意見を述べる時間を設けたい。</li> <li>・レポートを2回ほど書かせることを通じ、論理構成・展開、さらには参考資料の利用等について指導・説明をしたい。</li> <li>・自分の意見を堂々と述べ、かつそれを素直に整理し、文章にまとめる能力を求めたい。</li> </ul>						
<b>関連科目・知識・スキル</b>						
文化総合講座(芸術・芸能)、文化総合講座(宗教・思想)、グローバルヒストリー						
<b>成績評価</b>						
<p>定期試験・レポートと受講態度を総合して評価したい。定期試験は論述式で3題の問題を出し、そのなかから2題を選択して回答してもらう。論理展開が上手く出来ている回答の評価が高い。</p>						
<b>教科書・参考書など</b>						
<p>教科書 浅羽良昌『日本が支える観光大国アメリカ』昭和堂 2008年 参考書 亀井俊介編『アメリカ文化史入門』昭和堂 2006年</p>						
<b>履修上の注意事項</b>						
<p>私語をしないようにして下さい。ただし、講義中の質問は大歓迎です。</p>						

## 授業の柱(単元)と授業スケジュール

- 1 観光と文化
  - 1 観光とは
  - 2 文化とは
  - 3 観光と文化との相互作用
- 2 アメリカの生活文化・大衆文化のかたち
  - 1 アメリカ文化の特徴
  - 2 大衆文化の草・映画
  - 3 国民の音楽ジャズ・大衆芸術ミュージカル
  - 4 スポーツの企業化・プロ化
  - 5 万人のための大学から世界のための大学へ
- 3 観光大国アメリカと呼ばれるのは何故？
  - 1 アメリカ観光の国際比較
  - 2 お金を使わせるアメリカ観光
  - 3 最大のお得意様は日本
  - 4 アメリカ人の節約・儉約的な海外旅行
- 4 国際観光の舞台アメリカ
  - 1 世界からのアメリカ観光
  - 2 各国別のアメリカ観光の特徴
  - 3 大都会・総合リゾート・テーマリゾート観光へ
- 5 文化のローカル化から文化のグローバル化へ
  - 1 アメリカ文化の世界への普及
  - 2 世界の文化のアメリカへの波及

## 学生への一言